

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
 TEL: 03-3259-3111(代表)
 www.ms-ins.com

2018年2月2日

ブロックチェーン技術を活用した 保険申込書類の確認業務における実証実験を開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之、以下「三井住友海上」）は、株式会社 bitFlyer（代表取締役：加納裕三、以下「bitFlyer」）と共同で、ブロックチェーン技術を活用した保険申込書類の確認業務における実証実験を、今般、開始しました。

従来、保険申込書類の確認業務では、全国の営業拠点と事務センター間におけるFAX等の紙によるやり取りが中心であったため、書類確認等に一定の時間を要していました。本実証実験では、これらの業務にbitFlyerの高度なブロックチェーン技術^(※)を活用することで、デジタルライゼーションによる業務効率化と迅速な保険証券発行によるお客さまサービスの向上を目指します。

三井住友海上は、今後もデジタルライゼーションを推進し、お客さまサービスの向上に努めていきます。

(※) 本実証実験では、bitFlyerのブロックチェーン技術「miyabi」を採用しています。「miyabi」は、ブロックチェーンの特長である堅牢性を持ちながら、処理速度等の課題に対応する技術を有しています。

1. 実証実験の概要

(1) 実験内容

全国の営業拠点と事務センターの間において、保険申込書類の照会やその回答、進捗状況等をブロックチェーン上で情報共有するシステムを構築し、業務効率化等を含めた実用可能性を検証します。

(2) 実施時期

2018年1月中旬から約3ヶ月間（予定）

(3) 期待される効果

①保険証券発行期間の短縮

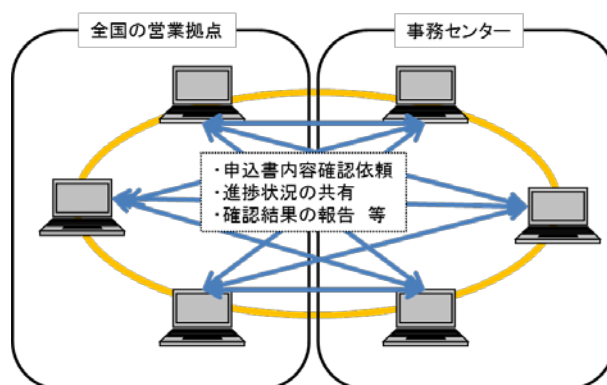
照会業務に電子データを活用するため、FAX等の送付・受領・確認に費やす時間が削減され、保険証券発行に要する期間の短縮が見込まれます。

②高度なセキュリティの確保

ブロックチェーン技術の活用により、高度なセキュリティを確保し、情報漏えいや紛失リスクを削減します。

③安価なシステムの構築

従来の中央認証やデータ管理等における強固なセキュリティの構築が不要となるため、安価なシステム開発が可能となります。



<実証実験のイメージ>

2. 今後の展開

実証実験の結果を踏まえ、全国の拠点でブロックチェーン技術を活用した業務プロセスの最適化を推進するとともに、代理店も利用可能なシステムの開発を検討していきます。

以上